

取扱説明書

ScreenManager® Pro for LCD (DDC/CI)

重要

ご使用前には必ずこの取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。

最新のソフトウェアおよび取扱説明書は、当社の Web サイトからダウンロードできます。

<http://www.eizo.co.jp>

ScreenManager Pro for LCD (DDC/CI) について . . . 3

第 1 章 セットアップ 4

1-1. 動作条件 4

1-2. インストール 5

1-3. アイコン表示について 6

1-4. アンインストール 6

第 2 章 設定画面の表示と終了 7

第 3 章 オートファインコントラスト 9

第 4 章 カラー調整 11

第 5 章 Multi-Monitor Match 13

第 6 章 サウンド 16

第 7 章 EyeCare 17

第 8 章 EyeCare Filter 18

第 9 章 こんなときは 20



-
- 1 本書の著作権は EIZO 株式会社に帰属します。本書の一部あるいは全部を EIZO 株式会社からの事前の承諾を得ることなく転載することは固くお断りします。
 - 2 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
 - 3 本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
 - 4 本製品の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、上記にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

EIZO、EIZO ロゴ、FlexScan、FORIS、ScreenManager は EIZO 株式会社の日本およびその他の国における登録商標です。

その他の各会社名、各製品名は、各社の商標または登録商標です。

ScreenManager Pro for LCD (DDC/CI) について

ScreenManager Pro for LCD (DDC/CI) は、信号ケーブルを介して、マウスとキーボードを使ってコンピュータからモニターを調整するソフトウェアです。

特長

• オートファインコントラスト機能

アプリケーションにそれぞれファインコントラストモードを登録することにより、アプリケーションごとにモニターのファインコントラストモードを自動で切り替えることができます。

(ご使用のモニターによっては、ファインコントラストモードをカラーモードと表記しています。)

• カラー調整 (調整データ登録)

モニターのカラー調整機能をソフトウェア上からコントロールすることができます。また調整値をデータで保存して、読み出すことができます。

ユーザー登録のカラーデータを、オートファインコントラスト機能で切り替えるモードとして利用することもできます。

• Multi-Monitor Match

あるモニターで設定したカラー調整結果 (色温度、ガンマ値、ブライトネス) をその他のモニターに反映することができます。これにより、1台1台モニターを調整する手間を省き、簡単にモニター間の見た目のばらつきを解消することができます。

• サウンドコントロール

スピーカー内蔵のモニター機種では、音量を設定することができます。

• EyeCare

目の健康管理に役立てることができます。

- EyeCare Reminder

任意のポップアップメッセージを定期的に表示させることができます。

• EyeCare Filter

半透明の画像をフィルタとしてデスクトップの最前面に表示することで、紙の質感を再現します。

Paper モードを搭載しているモニターは、Paper モードと組み合わせて使用すると、より紙の見え方に近づけることができます。

• マルチモニター環境制御

マルチモニター環境でお使いの場合、モニター個別に各種設定および調整をおこなうことができます。

第1章 セットアップ

1-1. 動作条件

ScreenManager Pro for LCD (DDC/CI) ソフトウェアを使用するには、以下の環境が必要です。

OS	Microsoft Windows 8.1 (32 ビット版および 64 ビット版) Microsoft Windows 8 (32 ビット版および 64 ビット版) Microsoft Windows 7 Service Pack 1 (32 ビット版および 64 ビット版)
対応モニター	DDC/CI 拡張コマンド対応の EIZO FlexScan / FORIS シリーズ

注意点

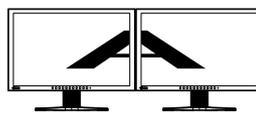
- DisplayPort 接続している場合、ScreenManager Pro for LCD (DDC/CI) は使用できません。
- HDMI 接続している場合、ご使用の機種によっては ScreenManager Pro for LCD (DDC/CI) を使用できません。詳細は、モニターの取扱説明書を参照してください。
- モニターを 2 台以上接続している場合は、それぞれのモニターに独立した画面を表示してください。同じ画面をそれぞれのモニターに表示したり、画面を複数のモニターにわたって表示すると、ScreenManager Pro for LCD (DDC/CI) での調整ができません。設定の変更については、グラフィックボードの取扱説明書を参照してください。



それぞれのモニターに独立した画面を表示 (○)



それぞれのモニターに同じ画面を表示 (×)



複数のモニターにわたって画面を表示 (×)

- 次のソフトウェアは ScreenManager Pro for LCD (DDC/CI) と同時に使用することはできません。次のソフトウェアがインストールされている場合、ScreenManager Pro for LCD (DDC/CI) のインストール時にアンインストールされます。
 - ScreenManager Pro
 - ScreenManager Pro for Gaming
 - ScreenManager Pro for LCD
 - ScreenManager Pro for Medical
 - G-Ignition
 - EIZO EcoView NET Client
 - EIZO EasyPIX

1-2. インストール

- 1 コネクタに合った信号ケーブルを使って、コンピュータとモニターを接続します
信号ケーブル接続後、各コネクタの固定ねじを最後までしっかりと回して、確実に固定してください。

参考

- 複数のモニターを接続することができます。詳細は、モニターの取扱説明書を参照してください。

CD-ROM からインストールする場合

- 1 CD-ROM ドライブに「EIZO LCD ユーティリティディスク」CD-ROM を挿入します

メニュー画面が表示されますので、「ソフトウェア」タブをクリックします。
「ScreenManager Pro for LCD (DDC/CI)」をクリックします。

参考

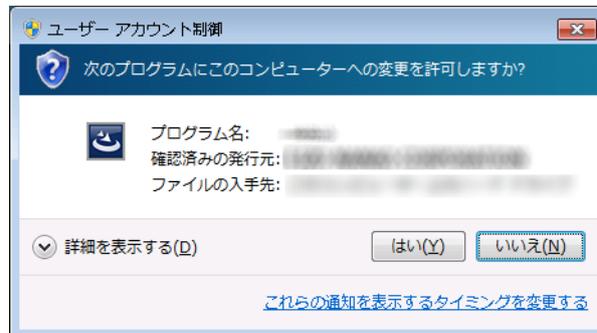
- メニュー画面が表示されない場合は、「Launcher.exe」をダブルクリックしてください。

2 ソフトウェアをインストールします

「インストール」をクリックすると、インストーラが起動します。

参考

- 「ユーザーアカウント制御」ダイアログボックスが表示される場合があります。^{※1}
「はい」をクリックすると、メニューが起動します。



※1：設定によっては、「ユーザーアカウント制御」ダイアログボックスは表示されません。
画面の指示に従ってソフトウェアをインストールします。
インストールが完了すると、ScreenManager Pro for LCD (DDC/CI) アイコンがタスクトレイに表示されます。



当社 Web サイトからダウンロードしてインストールする場合

1 ダウンロードしたファイルを解凍後、「Launcher.exe」をダブルクリックします

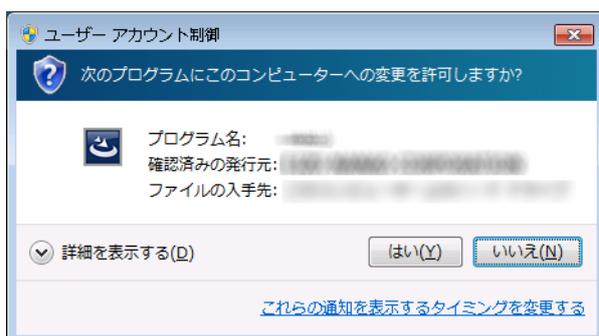
メニュー画面が表示されますので、「ScreenManager Pro for LCD (DDC/CI)」をクリックします。

2 ソフトウェアをインストールします

「インストール」をクリックすると、インストーラが起動します。

参考

- 「ユーザーアカウント制御」ダイアログボックスが表示される場合があります。^{※1}
「はい」をクリックすると、メニューが起動します。



※1：設定によっては、「ユーザーアカウント制御」ダイアログボックスは表示されません。
画面の指示に従ってソフトウェアをインストールします。
インストールが完了すると、ScreenManager Pro for LCD (DDC/CI) アイコンがタスクトレイに表示されます。



1-3. アイコン表示について

 カラー表示	ScreenManager Pro for LCD (DDC/CI) は使用可能です。
 白黒表示	ScreenManager Pro for LCD (DDC/CI) が使用できません。詳細は、「第9章 こんなときは」(P.20) を参照してください。

1-4. アンインストール

- 1 「コントロールパネル」で「プログラムのアンインストール」を選択して、クリックします
- 2 リストから「ScreenManager Pro for LCD (DDC/CI)」を選択して、「アンインストール」をクリックします

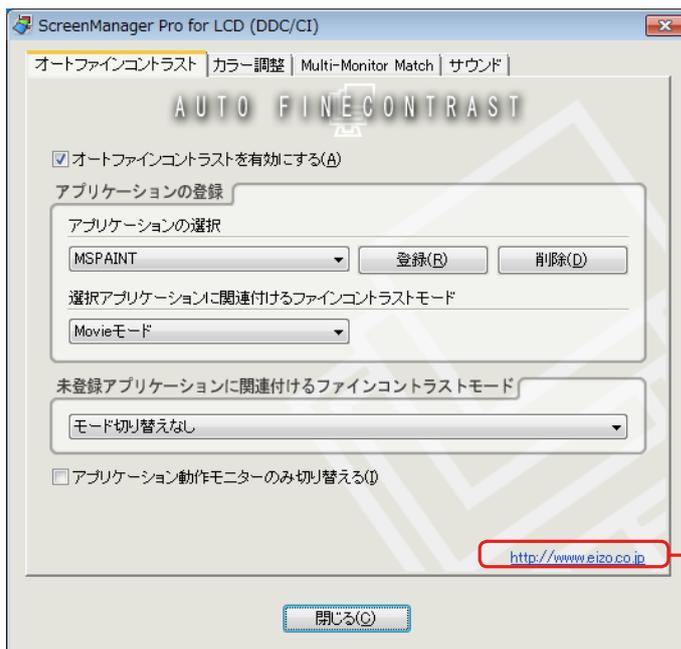
第2章 設定画面の表示と終了

設定画面の表示

タスクトレイの ScreenManager Pro for LCD (DDC/CI) アイコンを右クリックして、リストから「ScreenManager Pro for LCD (DDC/CI) の設定」を選択します。
ScreenManager Pro for LCD (DDC/CI) の設定画面が表示されます。

参考

- タスクトレイの ScreenManager Pro for LCD (DDC/CI) アイコンをダブルクリックしても設定画面が表示されます。
- タスクトレイに ScreenManager Pro for LCD (DDC/CI) アイコンがない場合は、次の方法でソフトウェアを起動します。
 - Windows 8.1 の場合、スタート画面で  をクリックし、「アプリ」 - 「ScreenManager Pro for LCD (DDC/CI)」をクリックします。
 - Windows 8 の場合、スタート画面で「ScreenManager Pro for LCD (DDC/CI)」と表示されたタイルをクリックします。
 - Windows 7 の場合、「スタート」 - 「すべてのプログラム」 - 「EIZO」 - 「ScreenManager Pro for LCD (DDCCI)」 - 「ScreenManager Pro for LCD (DDCCI) Ver x.x.x」をクリックします。



クリックすると当社 Web サイトが開きます。

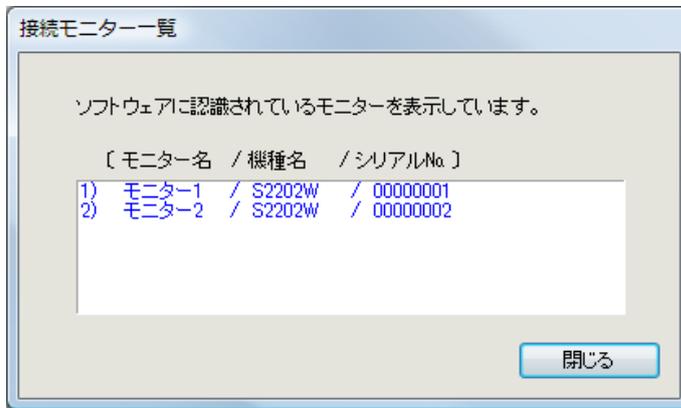
設定画面の終了

各設定画面上の「閉じる」をクリックします。

接続モニター一覧の表示

タスクトレイの ScreenManager Pro for LCD (DDC/CI) アイコンを右クリックして、リストから「接続モニター一覧」を選択します。

ScreenManager Pro for LCD (DDC/CI) を使用して制御できるモニターの一覧が表示されます。



バージョン情報

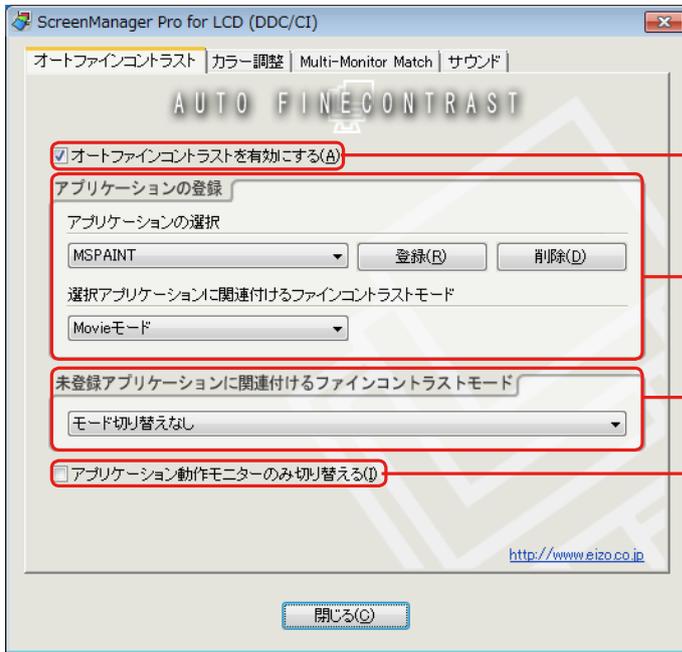
ScreenManager Pro for LCD (DDC/CI) のバージョンは、ScreenManager Pro for LCD (DDC/CI) タイトルバー左端にあるアイコンをクリックし、「バージョン情報」をクリックして表示します。

第3章 オートファインコントラスト

アプリケーションにそれぞれファインコントラストモードを登録することにより、アプリケーションごとにモニターのファインコントラストモードを自動で切り替えることができます。

参考

- ご使用のモニターによっては、ファインコントラストモードをカラーモードと表記しています。



オートファインコントラスト機能を使用するときにチェックをします。

アプリケーションにファインコントラストモードを登録したり、登録を削除します。

「未登録アプリケーションに関連付けるファインコントラストモード」(P.10) 参照

「アプリケーション動作モニターのみ切り替える」(P.10) 参照

オートファインコントラストの設定

オートファインコントラストを設定するには、次の手順でアプリケーションにファインコントラストモードを関連付けて登録します。

- 1 「オートファインコントラストを有効にする」をチェックします
- 2 「アプリケーションの選択」のプルダウンメニューから、アプリケーションを選択します

参考

- プルダウンメニューには、起動中のアプリケーション名と、すでに登録がされているアプリケーション名が表示されます。

3 「選択アプリケーションに関連付けるファインコントラストモード」のプルダウンメニューから、ファインコントラストモードを選択します

参考

- モニター機種によって、プルダウンメニューに表示されるファインコントラストモードは異なります。
- ファインコントラストモードの詳細は、モニターの取扱説明書を参照してください。
- カラー調整機能で登録したユーザー登録データをプルダウンメニューから選択することもできます。

4 「登録」をクリックします

アプリケーションとファインコントラストモードの関連付けが登録されます。

5 続けて、アプリケーションを登録する場合は、2～4を繰り返します

6 「閉じる」をクリックします

オートファインコントラストの設定が有効となります。

登録したアプリケーションがアクティブになった場合、モニターのモードが関連付けられているファインコントラストモードに自動で切り替わります。

注意点

- Windows のデスクトップに対しては、ファインコントラストモードを登録できません。

未登録アプリケーションに関連付けるファインコントラストモード

「アプリケーションの登録」で特定のファインコントラストモードを登録していないアプリケーションに対してファインコントラストモードを関連付けます。未登録のアプリケーションがアクティブになった場合、モニターのモードが関連付けられたファインコントラストモードに自動で切り替わります。設定するには、「未登録アプリケーションに関連付けるファインコントラストモード」のプルダウンメニューからファインコントラストモードを選択します。

アプリケーション動作モニターのみ切り替える

マルチモニター環境の場合、「アプリケーション動作モニターのみ切り替える」にチェックすると、アプリケーションが動作しているモニターのみオートファインコントラストを機能させることができます。複数のモニター画面にわたってアプリケーションを表示させた場合には、最も多くの領域が表示されているモニターのファインコントラストモードが切り替わります。

第4章 カラー調整

ファインコントラストモードごとに、独立したカラー調整の設定ができます。調整状態をカラーデータとしてコンピュータに登録して、読み出すこともできます。

参考

- ご使用のモニターによっては、ファインコントラストモードをカラーモードと表記しています。



基本的なカラー調整をします。
「カラー調整」(P.12) 参照

カラー調整状態を登録します。また、読み出してモニターに反映させます。
「カラー調整データの登録と読み出し」(P.12) 参照

- 1 マルチモニター環境の場合、調整するモニターを「モニター選択」のプルダウンメニューから選択します
- 2 「モード選択」のプルダウンメニューから、カラー調整の対象となるファインコントラストモードを選択します

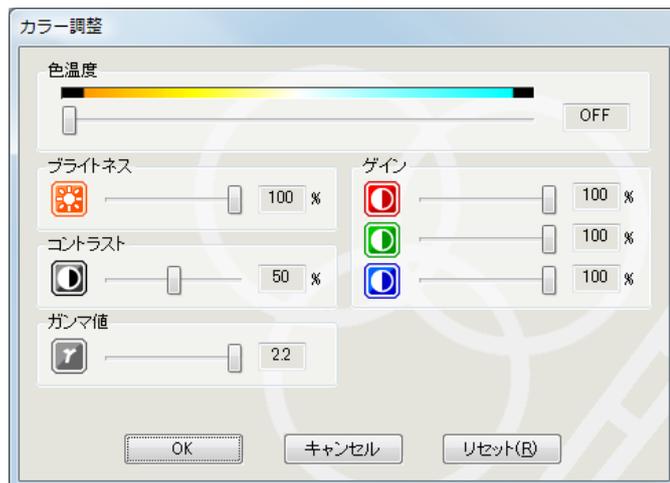
3 各パラメータの調整をおこないます

参考

- ・モニターの種類によって、調整できるパラメータ調整項目が異なります。調整できるパラメータ調整項目を確認するには、モニターの取扱説明書を参照してください。

「カラー調整」

「色温度」、「ブライトネス」、「コントラスト」、「ガンマ値」、「ゲイン」の各調整ができます。



参考

- ・「リセット」をクリックすると、現在使用しているファインコントラストモードのみ、工場調整状態に戻します。
- ・ガンマ調整の範囲は機種により異なります。

4 「OK」をクリックします

カラー調整の設定が有効になります。

カラー調整データの登録と読み出し

「カラー調整」タブで調整したカラー調整データを任意の名前で登録できます。また、登録したデータを読み出すことで、各パラメータ調整の調整値を一括してモニターに反映することができます。

登録

「調整データ名」のテキストボックスに任意の名前を入力して、「登録」をクリックします。

削除

「調整データ名」のプルダウンメニューから、カラー調整データ名を選択して、「削除」をクリックします。選択したカラー調整データが削除されます。

読み出し

「調整データ名」のプルダウンメニューから、カラー調整データ名を選択して、「読み込み」をクリックします。選択したカラー調整データがモニターに反映されます。

第5章 Multi-Monitor Match

FlexScan EV シリーズのモニターでは、Multi-Monitor Match 機能が利用できます。この機能を使うと、あるモニターで設定したカラー調整結果（色温度、ガンマ値、ブライトネス）をその他のモニターに反映することができます。これにより、1台1台モニターを調整する手間を省き、簡単にモニター間の見た目のばらつきを解消することができます。

動作条件

この機能を使用するには、1台のコンピュータに複数の FlexScan EV シリーズのモニターを接続する必要があります。対象機種は次のとおりです。

EV2736W、EV2436W、EV2416W、EV2336W、EV2316W、EV2216W

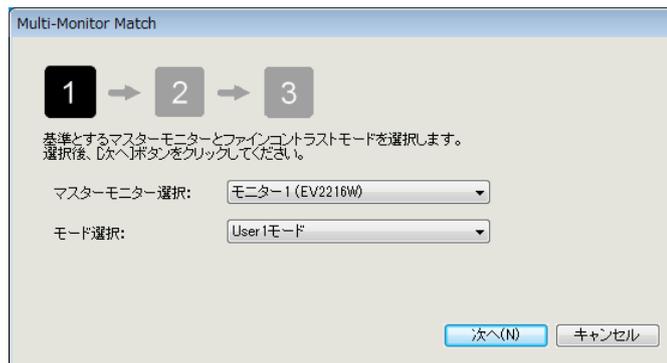
1 「調整」をクリックします

参考

- 「動作条件」(P.13) を満たしていない場合は、「調整」ボタンがクリックできません。



2 基準とするマスターモニターとファインコントラストモードをプルダウンメニューから選択して、「次へ」をクリックします

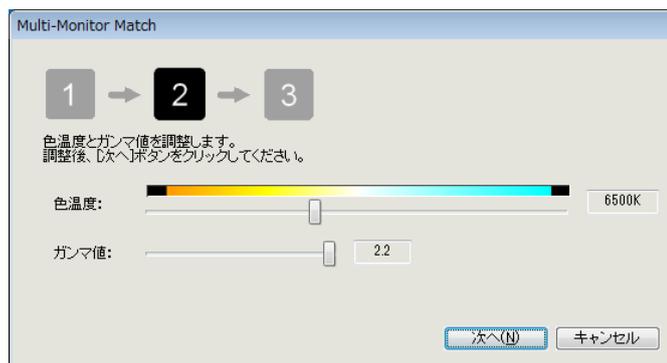


3 色温度とガンマ値を調整して、「次へ」をクリックします

マスターモニターの調整結果が、その他のモニターに反映されます。

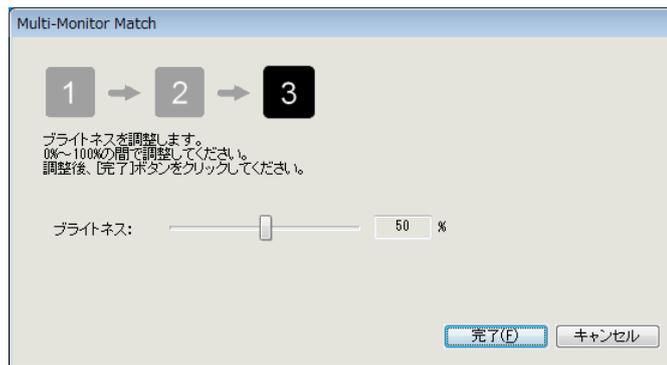
参考

- 色温度は「オフ」に設定できません。
- 選択したファインコントラストモードによっては、色温度およびガンマ値が変更できない場合があります。各モードで変更できる項目については、モニターの取扱説明書を参照してください。



4 ブライトネスを調整して、「完了」をクリックします

マスターモニターの調整結果が、その他のモニターに反映されます。



参考

- 接続しているモニターごとに最大輝度値が異なる場合、最大輝度値が最も低い機種に基づいて調整されます。そのため、この画面で調整できるブライトネス値が100%より小さい場合があります。
- この機能を実行すると、モニター間の実際の明るさ（輝度値）が一致するように調整されます。そのため、モニターの設定メニューに表示される「ブライトネス」の値が、モニターごとに異なる場合があります。
- Multi-Monitor Match による調整完了後に、さらに各モニターを微調整する場合は、設定メニューの「ブライトネス」および「ゲイン」の値を変更してください。

第6章 サウンド

モニターに内蔵しているスピーカーの音量を調整します。



- 1 マルチモニター環境の場合、調整するモニターを「モニター選択」のプルダウンメニューから選択します
- 2 スライダーを動かして音量を調整します

参考

- 「リセット」をクリックすると音量を初期設定に戻します。
- 音量調整の範囲は機種により異なります。

第7章 EyeCare

目の健康管理に役立てることができます。

- EyeCare Reminder
任意のポップアップメッセージを定期的に表示させることができます。



注意点

- EyeCare (EyeCare Reminder) を使用するには、タスクトレイに ScreenManager Pro for LCD (DDC/CI) アイコンが常駐している必要があります。

1 タスクトレイの ScreenManager Pro for LCD (DDC/CI) アイコンを右クリックして、リストから「EyeCare の設定」を選択します

Eye Care の設定画面が表示されます。



2 マルチモニター環境の場合、EyeCare Reminder の対象となるモニターを「対象モニター」のプルダウンメニューから選択します

3 「定期的に表示する」をチェックします

4 メッセージの表示間隔を設定します

1 時間単位で最大 24 時間まで設定できます。

5 メッセージを編集したい場合は、「メッセージ編集」をクリックします

メッセージ編集画面が開き、メッセージ内容を半角 255 文字（全角 127 文字）以内で編集することができます。

注意点

- 対象のモニターを変更すると、メッセージが表示されるまでの時間がリセットされます。

第8章 EyeCare Filter

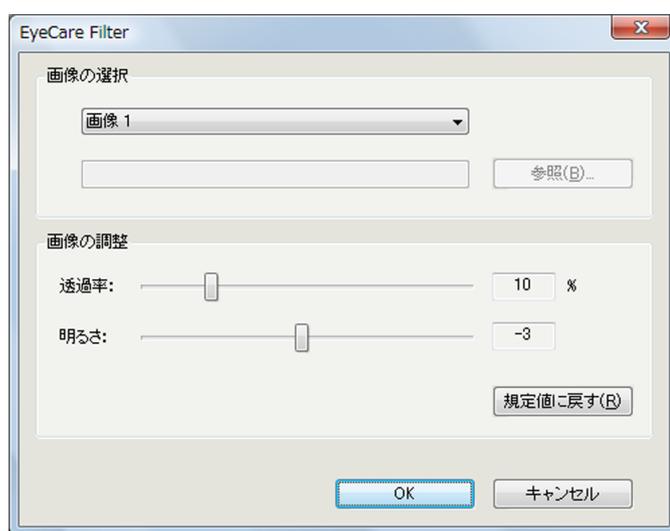
半透明の画像をフィルタとしてデスクトップの最前面に表示することで、紙の質感を再現します。Paper モードを搭載しているモニターは、Paper モードと組み合わせて使用すると、より紙の見え方に近づけることができます。

注意点

- EyeCare Filter を使用するには、タスクトレイに ScreenManager Pro for LCD (DDC/CI) アイコンが常駐している必要があります。

1 タスクトレイの ScreenManager Pro for LCD (DDC/CI) アイコンを右クリックして、リストから「EyeCare Filter の設定」を選択します

EyeCare Filter の設定画面が表示されます。



2 「画像の選択」のプルダウンメニューから画像を選択します

選択した画像が表示されます。

設定	詳細
画像 1 ~ 6	あらかじめ 6 種類の画像を準備しています。 お好みに応じて選択してください。
ファイル選択	任意の画像※を選択することができます。 「参照」をクリックして、画像ファイルを選択してください。

※ 選択できる画像ファイルの形式は次のとおりです。
ビットマップ (*.bmp)、JPEG (*.JPG、*.JPEG、*.JPE、*.JFIF)、GIF (*.GIF)、TIFF (*.TIF、*.TIFF)、PNG (*.PNG)

参考

- 「なし」を選択すると、フィルタが非表示となります。

3 スライダーを動かして画像の透過率、明るさを調整します

(透過率：0～50%、明るさ：-100～100)

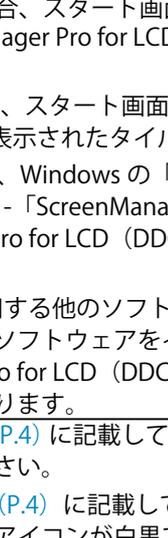
4 「OK」をクリックします

EyeCare Filter の設定が有効となります。

参考

- 「規定値に戻す」をクリックすると、現在選択している画像の透過率、明るさを初期設定に戻します。
-

第9章 こんなときは

症状	原因と対処方法
1.ScreenManager Pro for LCD (DDC/CI) が動作しない	<ul style="list-style-type: none"> DDC/CI 通信に対応したグラフィックスボードが必要です。グラフィックスボードの互換性については、当社 Web サイト (http://www.eizo.co.jp) を参照してください。
2.アイコンがタスクトレイにない	<ul style="list-style-type: none"> Windows 8.1 の場合、スタート画面で  をクリックし、「アプリ」 - 「ScreenManager Pro for LCD (DDC/CI)」 をクリックして起動します。 Windows 8 の場合、スタート画面で「ScreenManager Pro for LCD (DDC/CI)」と表示されたタイルをクリックして起動します。 Windows 7 の場合、Windows の「スタート」 - 「すべてのプログラム」 - 「EIZO」 - 「ScreenManager Pro for LCD (DDCCI)」 - 「ScreenManager Pro for LCD (DDCCI) Ver x.x.x」 をクリックして起動します。 DDC/CI 通信を利用する他のソフトウェアと併用することはできません。他のソフトウェアをインストールしたときに ScreenManager Pro for LCD (DDC/CI) がアンインストールされている場合があります。
3.アイコンが白黒表示される 	<ul style="list-style-type: none"> 「1-1. 動作条件」(P.4) に記載しているモニターが接続されているか確認してください。 「1-1. 動作条件」(P.4) に記載しているモニターを接続しているにもかかわらずアイコンが白黒で表示される場合は、コンピュータを再起動してください。
4.オートファインコントラストが機能しない	<ul style="list-style-type: none"> オートファインコントラストを機能させるには、タスクトレイに ScreenManager Pro for LCD (DDC/CI) アイコンが常駐している必要があります。 オートファインコントラストタブの「オートファインコントラストを有効にする」をチェックしているか確認してください。 ScreenManager Pro for LCD (DDC/CI) の設定画面を終了してください。(ScreenManager Pro for LCD (DDC/CI) の設定画面を終了することにより、設定が有効となります。)
5.次のようなメッセージが表示される 	<ul style="list-style-type: none"> 選択した画像ファイルが破損している可能性があります。画像ファイルが破損していないか確認してみてください。 選択した画像ファイルが選択可能なファイル形式か確認してください(「第8章 EyeCare Filter」(P.18) 参照)。
6.使用しているモニターが「接続モニター一覧」に表示されない	<ul style="list-style-type: none"> 「1-1. 動作条件」(P.4) に記載しているモニターが接続されているか確認してください。 「1-1. 動作条件」(P.4) に記載しているモニターを接続しているにもかかわらずアイコンが白黒で表示される場合は、コンピュータを再起動してください。
7.「Multi-Monitor Match」タブの「調整」ボタンがクリックできない	<ul style="list-style-type: none"> Multi-Monitor Match 機能を使用するには、1台のコンピュータに複数の FlexScan EV シリーズのモニターを接続する必要があります(「動作条件」(P.13) 参照)。



EIZO株式会社

<http://www.eizo.co.jp>

Copyright © 2008-2014 EIZO株式会社 All rights reserved.

第 14 版 2014 年 8 月

03V22458P2
(U.M-SMPROLCD-DDCCI)